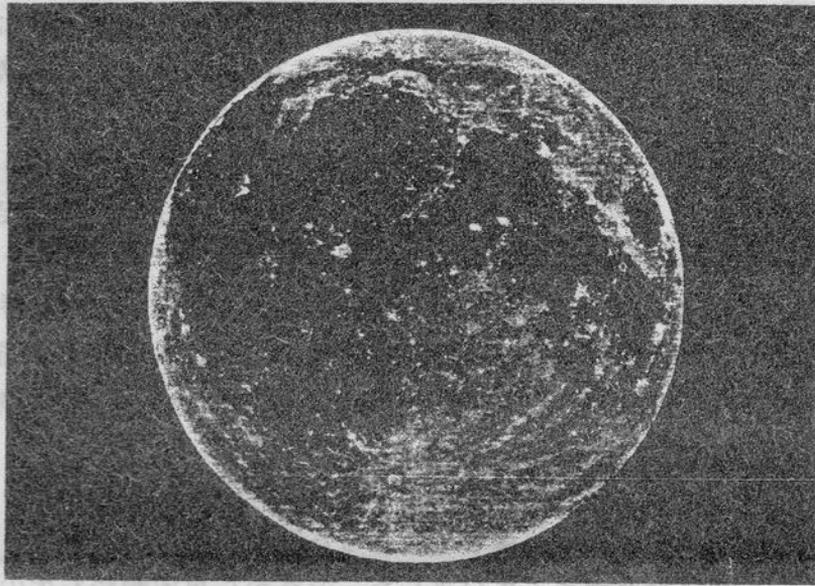


星屑



vol. 187

1990. 9

熊本県民天文台

艶島さんはじめ 会員の皆さん、お疲れさまでした。でも県内外から800人もの方がお越しになり、星と親しまれたことは本当に良かったですね！勇壮な緑仙太鼓で、雲の中の水滴がバラバラと落ちた後は、COMET LEVYも美しく眺めることが出来ました。特に、遠路長崎から友情参加して下さった、富田さんの50Cmで彗星や土星等、心ゆくまで楽しまれた方も多かったことと思います。紙面を借りて、富田さんと そのスタッフの皆様方に心より御礼申し上げます。

それからリアルタイムで、レビー彗星の像をCRTに映し出したのは、立派な出来であったと、喜んでいきます。

今年 これは！と思ったのは、甲斐村長さんのご挨拶の中に、『清和村に於いても、来年から天文台建設に就いて しっかり取り組みたい……』といった趣旨のお言葉があったことです。清和村の重要スタッフである兼瀬さんもニコニコ顔です、私の耳もとで「村長が公約してくれました。」と囁かれるのでした。

熊本県内随一の星見所 清和村にドームに納まった大型の望遠鏡が設置されれば、それはもう鬼に金棒、立派な観測もできるでしょうし、一般の方にとっても その魅力は大きなものとなるでしょう。「海の竜ヶ岳に対し、山の清和」とは甲斐村長の言葉でした。阿蘇高原の 澄み切った空気を吸い、きらめく星を眺めながら 宇宙を語りあうことができれば、何物にもかえがたい幸せとなりましょう。そこに ドームがそびえている とすれば！

最後にスターフェスタを大成功に導いて下さった清和村職員の皆さん、それに裏方の皆さん、本当に有り難うございました。それから星座物語を生声で熱っぽく語って下さった矢部さん、緑仙太鼓の皆さん、迫力満点でした。深夜まで 食事のすべてを賄って下さった農協のみなさん、ご馳走様でした。そのほか天文グッズを 色とりどりに揃え、販売して下さった皆さんや、望遠鏡を操作して、星の魅力を一般の方に見せて下さった皆さん有り難う。企画から会計・記録など目につかない所で、この催しを支えて下さった方々に感謝いたします。

末尾になりましたが、開催日変更などの お知らせを快く引き受けて下さったマスコミ各社の方々に心より御礼申し上げます。来年も清和で頑張りましょう！

スタ-フェスタ会計報告 *90. 9. 10. 現在

(収入) 404,850 円

(支出) no.1

Tシャツ代 110,000 円

屋グッズ代 147,627 円

屋グッズ送料 2,520 円

材料費 11,994 円

双眼鏡(売価分) 19,800 円

計 291,581 円

(支出) no.2

クーラー代 48,674 円

(98674円内5万謝礼)

打ち上げ代 10,000 円

計 58,674 円

(総支出) 350,255 円

残り) 54,595 円

第3回九州スターフェスタを終えて

安達智子

☆受付からの報告☆

パスポートの発行は739。内訳は県外約130、県内約500、清和村内約100だった。参加料収入は146400円で受付を済ませてから財布を忘れたことに気が付く人もいたりして7名分の不足となった。

☆受付での感想☆

望遠鏡を持参する人が多かった。みんな荷物と望遠鏡を両手にいっぱい抱えてきて「どっこいしょ」と名前を書き参加料を払いまた「どっこいしょ」と持っていく。結構大変である。

県外からとか仕事が終わってからとか21時をすぎて来る人も多かった。それだけみんな楽しみにしているということだろうか。そういう人たちにどの程度満足してもらえたか、ちょっとプレッシャーである。

・次に載せていますレポートは、パソコン通信「NIFTY-SERV」に出ているものです。これは、本人の了承を得ています。

日付は 8/19, 17:45 となっていますので、スターフェスタ終了と同時
時に打ちこまれたのです。

050/051 PAG01266 牛しゃん 九州スターフェスタに行ってきました。
(7) 90/08/19 17:45

どうもお久しぶりです。忘れられるところにひょろりとやってくる牛しゃんです。
8/18-19と南阿蘇外輪山にある熊本県清和村の「井無田高原」で、星を見る集いがありました。熊本県民天文台と清和村の合同企画です。会場は高原の朝日小学校で、今年が3回目。去年、おとどしと2回チャンスを潰していたので、今年こそはと万障繰り合わせて出掛けました。

熊本市からは車で1時間ほどです。もう毎年の行事なので道路の案内表示も適切で、道に迷うことなく会場へ到着します。わたしは17時ちょっと前に受付済ませましたが、番号は213でした。なんでも玉名から参加した方が1番乗りとかで、「開会宣言」をやらされる羽目に。

学校のグラウンドにいろいろと設営が開始されていました。家族やグループでテントを張っての参加もあります。仮眠用に体育館が解放され、大型テントも仮設してありました。スライドやビデオプロジェクター、各種望遠鏡のセットとともに、村のほうでは婦人部の人たちが食事の用意です。

えへへ。食い意地のかたまり牛しゃんのことゆえ、食券売り場へいそいそと。300円の「ませご飯」と100円の「おにぎりセット」を購入。ほかにカレーとかうどん、朝食のセットもありました。ついでに野菜の直売をしていたので、なすび(3本100円)、ばれいしょ(200円)、乾燥わらび(100円)を買いました。高冷地ですから、野菜もおいしいですよ。とうもろこしも買いたかったが、駐車場まで運ぶのがいやでやめた。

ん？ 星の話をするんだったな。軌道修正。

夕方、一時は黒い雲がもくもく、はるかな原野に虹まで立って、設営陣があわてて機材をテントに運びこむ場面もありましたが、なんとか雨にはなりませんでした。まあ、そうこうしているうちに夜になったと思ってください。

スライドやビデオ、抽選会、地元の太鼓の披露……この太鼓、当初「あまごい」になるのをおそれてメイン観測会の終了後にプログラムしていたが、一面に広がった雲をけ散らしてもらおうと予定変更。なんと効果があって、晴れ間が覗いたのには恐れ入った……抽選会ではわたしのパスポートナンバー(受付時に載いたの)もガイドブックに当選しました。屈折80mmのオークションまであって(落札1万円以下でしたよ)なかなかの盛り上がり。

天文グッズも売れてましたよ。「星の手帳」誌のアstroグッズなどもありました。実はわたしの使っているキーホルダーも、星座盤つきなのです。でもね……せっかく配られた星座速見盤も使い方をわからない人が多くて、コネコネしている人がいっぱいいました。おせっかいなわたしは、何人かに使い方を教えてあげましたけど。やっぱりああいうのは暗くなる前に配ったほうがいいかもしれませんね。

=====

長崎から50cmのドブソニアンも到着。いよいよ、会場に散らばった各種の望遠鏡に列ができて始まります。熊本市のNETの友人TANさん一家も到着して、いっしょに夏の星座を楽しみました。雲があるので、見上げて説明しているうちに、見えなくなったり、見えだしたり・・・木星を捕まえた大型ドブソニアンには150人以上の列ができてました。

注目のレビー彗星ですが、ペガススとこぎま座のちかくに肉眼でも見えるほどの明るさです。双眼鏡で見ると特有の光貌がわかります。大口径の反射鏡で見れば、核の部分に太陽風の作用が見えるようですが、150人の後ろに並ぶ気にはなれず、手持ちの「バード・ウォッチング用の」地上望遠鏡で覗いてみました。60mm口径なのでやや暗い像でしたが。(あとで他の反射鏡でも見せてもらいました)

TANさんたちは、いくつかの望遠鏡をまわったあと、3歳の子供さん連れなので23時前にお帰りになりました。わたしは双眼鏡による「こと座の三角形」スター・カウントに参加する予定でしたが、前半の人達が終わったあたりで雲が邪魔をして、カウントはできませんでした。32mm口径の双眼鏡で見たところ10個くらいは確認できますので、50mmならもうすこし見えると張り切っていたのに残念です。

その間、はくちょう座の流星群も7、8つ見ましたが、どうも薄い雲があるような、もうひとつスカっとしない輝きでした。なにしろ雲の間をぬっての観望でしたから。そうこうしながら12時すぎまで近くにいた天文台の人達と雑談しながら時を過ごし、この日は仮眠することになりました。

=====

さて、翌朝4時。車から起き出して下着を着替え、(おっと見ちゃーヨ)歯ブラシとタオル、双眼鏡をもって再びグランドへ。星は全天に瞬いています。さすがにこの時刻となるとドブソニアンにいるのは5、6人。それも主要メンバーのみ。さすがに宮本台長さんは仮眠もとらずに起きていました。ごりっば!! 拍手!! 冬の星座の代表、オリオンが昇り、スバルが天頂近くに。そしてアルデバランを圧倒する赤い光を放つのは、これから地球に接近してくる火星です。雲もなく、(やや薄くあるのかもしれないが)全天にわたり視野が開け、昨夜よりも条件がよくなりました。

しばらく、50cmのドブソニアンで星団を見せていただいているうちに、いよいよ月が出てきました。月齢28。下に金星を、上に木星を従えて。さっそくカメラをセットする人達。

天文台長の宮本さんは「では6時ころまで仮眠してきます。みなさまおやすみなさい。」と車へ。まあ、これが星見る人の夜の訪れなのでしょう。やがて薄明の時刻。わたしもここを立つことにしました。長崎からおいでた富田さんチーム(大型ドブソニアン)の一人にご挨拶して、グランドを離れました。

このあと朝食をとって閉会式があるそうです。わたしは外輪山を越えて高森へ移動しましたので(早朝のバード・ウォッチングのため)多くの人が眠りの中にあるこの時刻、会場をあとにしました。

関係者の皆さん、大成功でよかったですね。600~700人くらいは集まった

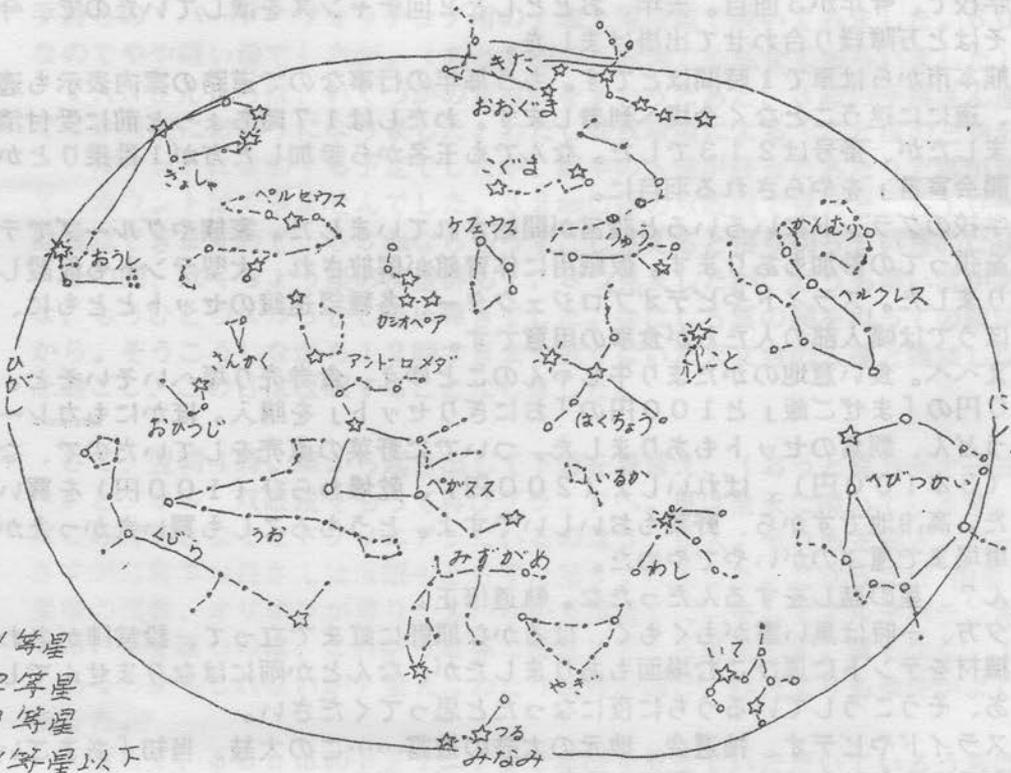
ようです。お疲れ様でした。また来年も行きますから、よろしくお願ひしますね。

=====

KEIKOの空散歩

10月上旬***午後9時00頃

10月下旬***午後8時00頃

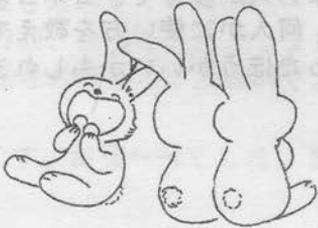


- ☆ 1等星
- ☆ 2等星
- 3等星
- 4等星以下

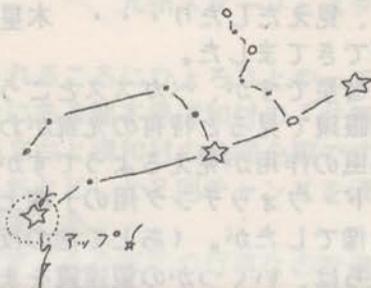


今年10月3日(水)が中秋の名月です。

皆でお祝いしましょう☆



アンドロメダ座 α_2



写真びえた
中尾 篤作
1990年9月27日
1時4分25秒
露出1秒
熊本県天文台 31cm
ニコンF2, O-18拡大



先月のM31は確かめてみられましたか？

今回は同じアンドロメダ座にある星です。

この星は二重星です。8月の星空では白鳥座の二重星を御紹介しましたが、この星も同じ様に青と黄色なのですか、

光度が違い、くっついているので見比べてみると面白いのでは？

KUN#

『ミューイ天文台』 オープンおめでとうございます。

熊本県民天文台 台長 宮本幸男

天草の龍ヶ岳町に、ユニークな名前のミューイ天文台がオープンしたのは、初夏の日差しも強い7月21日でした。松風が爽やかに吹き抜ける龍ヶ岳山頂には、真新しいコンクリートの建物の上に、銀色に輝くドームが扉を開け、大きな望遠鏡が見えています。

「ミューイ」というのは、熊本弁で、「いっしょに見ませんか!」と呼びかける言葉です。一般から公募して付けられた名前だそうですが、私たち県民天文台の一般公開と合い通じる処があって、非常に好感が持てます。

6・7年前から龍ヶ岳町の識者の方が、県民天文台や博物館にお越しになり天文台や一般公開について、お互いに打ち明けた話をする機会が何回かありました。そんなこんなで開所式にご招待下さったのだと思いますが、(永原さんと一緒に参加しました)「よくぞこのような立派な天文台をお創りになられた」と心からお慶び申し上げる次第です。

式に馳せ参じられた知名氏のご挨拶も、「銀河宇宙オデッセイ」などを例にとり、星と人とのつながりにも言及され、聞きごたえのあるお話でした。

辻本両造町長のお話によれば、ハレー彗星到来を機にこの天文台を創りたいと考えられた由ですが、町長ご自身宇宙に対し特別の興味を示しておられます。そのような純粋な発想の基に創られた天文台の、初代台長として地もとの天文愛好家 木戸良二さんを抜てきされた、町長の識見を高く評価したいと思います。

望遠鏡の見え味や使い勝手、それに宿泊設備や使用料金等に就いては、中島先生の記事にお任せすることにして、一応その概略だけ記します。メインは西村製作所の50Cmカセグレイン式(合成f12)で、サブとして15Cmの屈折が同架されています。羨ましいのは浜松ホトニクス製のエイビス画像処理装置や、メイン・サブに共用できるCCDテレビカメラを備えていることです。太陽のプロミネンスも明瞭に見せて戴きましたが、前夜撮られた「琴座の環状星雲M57」を画像処理されて、その中心星が見えていたのにびっくりした次第です。

ミューイ天文台の開所式に参加し、心よりお慶び申しあげると共に、今後の運営面でも末永くお付き合い願いたい、と想う次第です。

ミュージーイ天文台訪問記 その2

虫

くっきり見える「土星」・・・なかなかシャープな星像！！

中央女子高校の合宿に参加して（顧問の田尻先生は会員の方です）

8月6日の月曜日。18:00に天草の1号橋に集まったのは石原さん、中尾君、虫、虫の連れの前先生の4人だった。ちょっと心配な道のことを考えながら、松島で夕食をとる。海岸の快適なドライブコースをスターレットと57インチドアに煽られながらも、何とかトップの座を守りきって、竜が岳に到着した。あたりは次第に暗くなり、噂のあの道を登れるか？と不安になった。ちょっと竜が岳中学校の先生の家を訪ね道案内をお願いする。（ここで虫のいじきたない性格が明らかになったのだが・・・後略）

いよいよ始まった登り道。それほどひどくもなくちゃんとした舗装道路であった。日原の道とどっこいどっこいかな。頂上近くになると、林の中にバンガーが点在し、公衆電話、炊事施設・トイレなど完備している。しかも聞くところによると薪は使い放題であるという。なかなかのキャンプ場である。

キャンプ場を抜けてさらに車で登ること数分で、天文台の駐車場に着く。夕陽の残照をうけて微かに輝くドーム。やっぱり天文台はドームだ！と思わせる情景だった。やはり、小屋では見た目が・・・天文台の中に入ってまず目を引いたのがその広さであった。ちょっとした会議室くらいのホール？に少しだけ椅子が並べてあった。その前には宮本さんの記事にあった例のテレビモニターがすえてあったが、なぜか流れていたのは映画だったりして・・・

しかし、係の人がだれも見えないので恐る恐るドームの中へと階段を登っていった。すると、ドームの中の望遠鏡が目に入ってきた。

「でかい！！本当に大きいぞ！！」

こんな声を思わずあげるほど50Cmカセグレンは大きかった。しばらく台長さんの木戸さんと話ながら公開の様子を見学させてもらった。その時突然下から電話が。

「すみませんね、ちょっと後よろしくお願いしますよ。」

こう木戸さんは言うのとコントロールボックスを私に押し付けて下に行ってしまったのだった。こうして、後の時間を自由に使えるようになった私たちは、しかしなぜか土星をしっかりと眺めていたのだった。この土星が、なかなか明るく（当り前か、50センチだもんな！）しかも結構シャープだったのにはびっくりさせられた。カセグレンは光軸がなかなかと聞かされていたのでその星像には驚かされたのだった。加えてこの空隙はもちろんA環もしっかりと見え、本体の縞ちははっきりと認められた。一番感動的だったのは、明るく立体的に見えることであった。

さて、この日は月食のある日であったのだが、木戸さんは町長さんの指示でその様子をビデオに写し始めた。そこで思わず目が行くビデオの機材。カメラは白黒とカラーの2台。現在はまたサブの15センチの屈折に着けて撮影をしている状態だった。そして、話題のAVIS。いろいろな画像を実際に処理して見せていただいたのだが、T氏がこれを見たら涎をたらしそうなものだった。この晩は、満月ということでレビー彗星は実に淡くIIを使い画像処理をしたにもかかわらず尾はあまりはっきりと見えなかった。しかし、これだけの装置を使えば、いろんなことが出来るな！と感心してしまった。

この晩の本当の目的は、実は中央女子高校の天文部の合宿の写真撮影講習会だったのだが、満月で月食という条件では月を撮るしかない。というわけで、中尾君の指導のもと写真をどんどん写していた。次の日に仕事のある社会人は、12時頃やってきた甲斐君に後をむりやりお願いして、私たちは山を下っていった。その後、大ビールパーティーがあったなんてことは秘密です。

一人で切盛りしてがんばっている木戸さん、本当にお世話になりました。

皆さん、こんにちわ。先日の日食以来、ただでさえ図太かった神経が輪をかけて太くなってしまったと悩んでいる原田です。

あれから、関東地方の天体観測団体に加盟しようかと考えながらも、なかなか行動に移れない日々を過ごしています。

で、質問です。熊本県民天文台関東支部というものは、存在するのでしょうか？

存在するのならば、連絡先を教えて欲しいと思っています。

3年程前（まだ私が熊本にいた頃）、一度、どなたかが「関西にも支部があるのだから関東にも作ろう」とおっしゃっていたのは何となく覚えているのですが、その後どうなったのか知らないんですよ。

もし存在しないのであれば、設立を呼びかけようかと思っています。星屑が来るのを待つだけなんて面白くない、関東近郊在住の会員でなんかしようじゃありませんか、などと思う訳です。

あくまでも呼びかけであって、私の頭の中には、どういうことをするかいうのははっきり言ってありません！でも、待ってるだけじゃ、何もできないでしょ？だから、とりあえずは行動を開始してみようかと思うのです。

賛同してくださる方がいらっしゃるのでしたら、下記まで御一報下さい。

〒183 府中市小柳町4-9-17-103

原田 郁子

☎ 0423-34-4929

追伸 大変申し訳ありませんが、関西支部の活動をお教えいただけませんかでしょうか。参考にさせていただきたいので。

・この手紙は編集部に郵送されたものです。

《編集 後記》

初秋の候となり日に日に秋の気配を感じるきょうこの頃、いか
がお過ごしでしょうか。…などと、言ってはみるものの心には
なにか引っかかるものがあるのであります。それはというと…
現在、わが熊本大学では、前期試験の真っ最中でありまして、日頃
遊びほうけている私といたしましては、秋を感じて切なくなる前に、
試験の結果が脳裏に浮かんで切なくなるという、他の人とは違う秋
を感じています。

話は変わりますが、『星屑』の編集委員で土曜日の運営委員で
もある 守岡知彦 君が、夏休みをつかってな～んと ロシア（現
ソ連）！！へ行って来られたそうです。この内容については、
次号『星屑』10月号にて「ぼくのロシア旅行記」（仮称）として何
等かの報告があるものと思われれます。どうぞ期待！

【しおや】

熊本県民天文台機関誌『星屑』 1990年9月号 通巻 187号
発行所 熊本県民天文台 〒861-42 熊本県下益城郡城南町藤山
TEL 0964-28-6060
熊本県民天文台事務局 〒860 熊本市古京町3番2号 熊本市博物館内
TEL 096-324-3500
振替口座 熊本8-24463
熊本県民天文台事務局
編集担当 塩屋 侯治